

たすけあいネット・さめがわ設立

「たすけあいネット・さめがわ」の設立総会が7月2日、村公民館で開かれました。

設立総会には、関係者約20人が出席。議事では、設立提案書、会則などが承認され、会長に清水国明さんが選ばれました。



「たすけあいネット・さめがわ」は、村民の「結いの精神」で地域の防災活動や緊急事態への2次支援、被災地への復興支援や福祉活動を通じて「支え合う村づくり」を展開することが目的。災害被災地の支援活動や村内環境美化活動などの事業計画を決めました。

引き続き、設立記念講演会が開かれ、NPO法人ハートネットふくしま理事長の吉田公男氏が「いてもたってもいられねえ！俺のボランティア人生」と題して、ボランティア活動の経験と人の輪の大切さを訴えました。

富田地区で観察会や研修会を開催

富田地区は、平成21年8月に富田地区夢づくり協議会を設立し、地区を元気にしようと地域づくりに励んでいます。7月中、2つの部会で活動が行われました。



【交流事業部会】

7月10日、里山体験交流会「ハッチョウトンボ観察会」が富田字楯木田地内で行われました。

観察会には、日本一小さなトンボをみようとする富田区民など約30人が参加。森の案内人・水野春雄さんを講師にトンボの生態や自然環境について理解を深めました。

【特産品開発部会】

7月12日、「梅・しそ加工試作研修会」が村保健センターで行われました。

研修会には、富田区民など14人が参加。山際博美氏（山際食彩工房代表・会津若松市）を講師に梅の実やしんの葉を使った加工品を学び、今後の加工品開発に向けたヒントを得ていました。



N響・山口氏らが「夏のコンサート」 鮫川村に元気を届けたい

鮫川村だけの室内楽を堪能



NHK交響楽団第一コンサートマスター・山口裕之氏、元NHK交響楽団ヴィオラ首席奏者・川崎和憲氏らによるフロイエンベルグ・アンサンブル「夏のコンサート」は7月17日、村公民館で開かれました。

今年で14回目となったコンサートは、震災の影響によりほっとはうす・さめがわで合宿が行えない中、「鮫川村に元気を届けたい」と演奏会を開催していただきました。

バッハ、モーツァルトの曲や童謡メドレー、鮫川村民の歌などが披露されました。

写真右：2つのヴァイオリンによる演奏／写真右下：弦楽五重奏／写真下：4つのヴァイオリンによる演奏

